

まつなが ただお  
氏名：松永 忠雄

1972年 佐賀県生まれ

出身大学：東北大学

趣味：ドライブ（神戸や広島などへ  
思いつきな中距離ドライブが好きです）



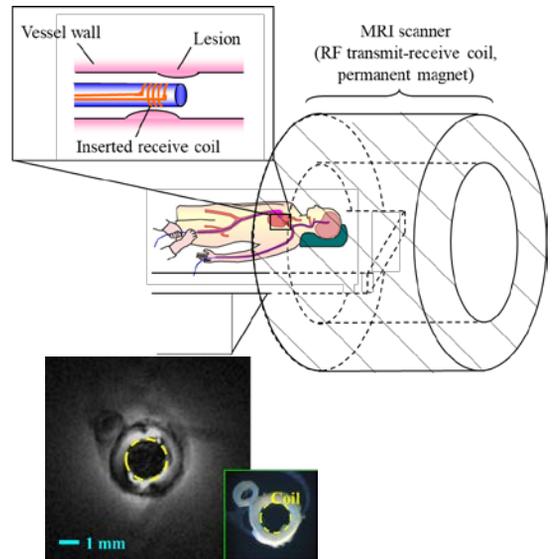
## 研究活動

- 主な所属学会：電気学会，日本生体医工学会
- 専門分野：半導体微細加工技術，医工学
- Keywords：MEMS，低侵襲医療デバイス

## 主な論文

- T. Matsunaga, et. al. : Multilayered receive coil produced using a non-planar photofabrication process for an intraluminal magnetic resonance imaging, Sensors and Actuators A, Vol. 261, p. 130-139, 2017.
- T, Matsunaga, et. al. : Tactile display using shape memory alloy micro-coil actuator and magnetic latch mechanism, Displays, Vol. 34, p. 89-94, 2013.

低侵襲医療ツールの形状は，挿入性や刺入性を良好にするため細径で円筒形状であることが望まれます。そんな円筒形状な医療ツールに超小型センサを搭載したり，様々な機能を付加することで次世代の医療デバイスを実現できます。私はMEMSと呼ばれる半導体微細加工技術を平面基板だけでなく円筒形状基板にも応用し，お役たち度の高い低侵襲医療デバイスを実現したいと考えております。



低侵襲医療デバイスの一例：体内MRIプローブ（概念図（上），摘出ブタ血管の撮像結果（下））

## 主な 担当科目

- 半導体 I（3年前期・単独）
- 物理学実験演習（1年後期・分担）

## 受賞経験等

- 2017年度 IEEE Best Paper Award in 2017 International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science (MHS2017)
- 2016年度 電気学会 第72回電気学術振興賞 論文賞